

笑顔の松山が好きやけん

～笑顔を守り・広げ・つなげる人たち～

私が「みかん一座」を立ち上げたのは昭和59年。松山市で頑張っている人たちが夢のカケラを持ち寄って、みんなで大きな夢を实らせたい…と、情熱だけで走り出しました。これまでに老若男女合わせて2,000人も市民が舞台上に立ち、それ以上の多くの人に支えられてここまでできました。人は学校で多くのことを学びますが、学び場はそれだけではありません。「みかん一座」をはじめ、人と人が集まる場所では誰もが成長することができます。その成長に欠かせないのは夢。未来を担う子どもも、人生の先輩であるお年寄りも、誰もが夢みる人を応援し、夢を叶えられるそんな松山市であることを願っています。



人と人が出会い
交流する松山市は
まち全体が学びの場

みかん一座 座長
戒田 節子さん

夢みる人を応援し、夢を叶えられるまち



健全で豊かな心を育むまち 教育・文化

子どもたちがいきいきと
育つ環境をつくる

小中学校へのエアコン整備 園庭などの芝生化

教育環境を改善し高めるため、市立小中学校の全普通教室と使用頻度の高い特別教室にエアコンを整備しました。また子どもの豊かな感性を育み、コミュニケーション能力や基本的な運動習慣の向上を目的に、子どもが戸外



芝生化された園庭を元気に走る園児

でのびのびと体を動かし遊べるよう、幼稚園・保育所の園庭や小中学校の芝生化を進めています。

教育環境の充実

松山の子どもたちに、これからの社会を生き抜く力と郷土への愛着や誇りを育み、さらに質の高い教育を行うとともに、教職員への研修や、学校教育に関する調査・研究などを行うため、平成28年に「教育研修センター」を開設しました。また、松山ゆかりの先人や伝統文化などを素材にした教材「ふるさと松山学」



教材「ふるさと松山学」

と松山学」の活用など、わがまち松山に根ざした学習を充実し、郷土への愛着や誇り、将来への志を育みます。

「市民と文化とまちをつなぐ」 松山ブンカ・ラボ

平成29年度に策定した「松山市民文化芸術振興計画」の将来ビジョン「市民全員が「まっつやま文化人」を実現するため、平成30年6月に松山ブンカ・ラボが始動。アートの視点で社会を考えるスクールや、体験型のワークショップなどを実施。市民一人ひとりが芸術文化を通して社会のさまざまな分野、領域に参画していくきっかけづくりとして、「一緒に考えたり、対話を重ねたり、作品を作ったりすることで、まっつやま文化人を増やし、育てていきます。」



ワークショップで物語を考える小学生

スポーツのちからで
まちを元気に

愛媛マラソン

平成22年の大会から、市内中心部と北条地域に至るコースに変更。制限時間も6時間に拡大し、応募者数は2万4,000人を超える大会になりました。平成29年には、日本のマラソン界をリードする川内優輝選手が出場し、レベルの高い大会として、全国のランナーから注目されています。

また、毎年中高生をはじめ地域住民や防災士が、コースの清掃活動や給水ボランティアなどで参加し、第58回大会では、4,000人を超える多くの皆さんに支えていただきました。



愛媛マラソン

